



認証番号0001044

61期 環境活動レポート

(活動期間:2021年8月~2022年7月)



発行日:2022年8月31日

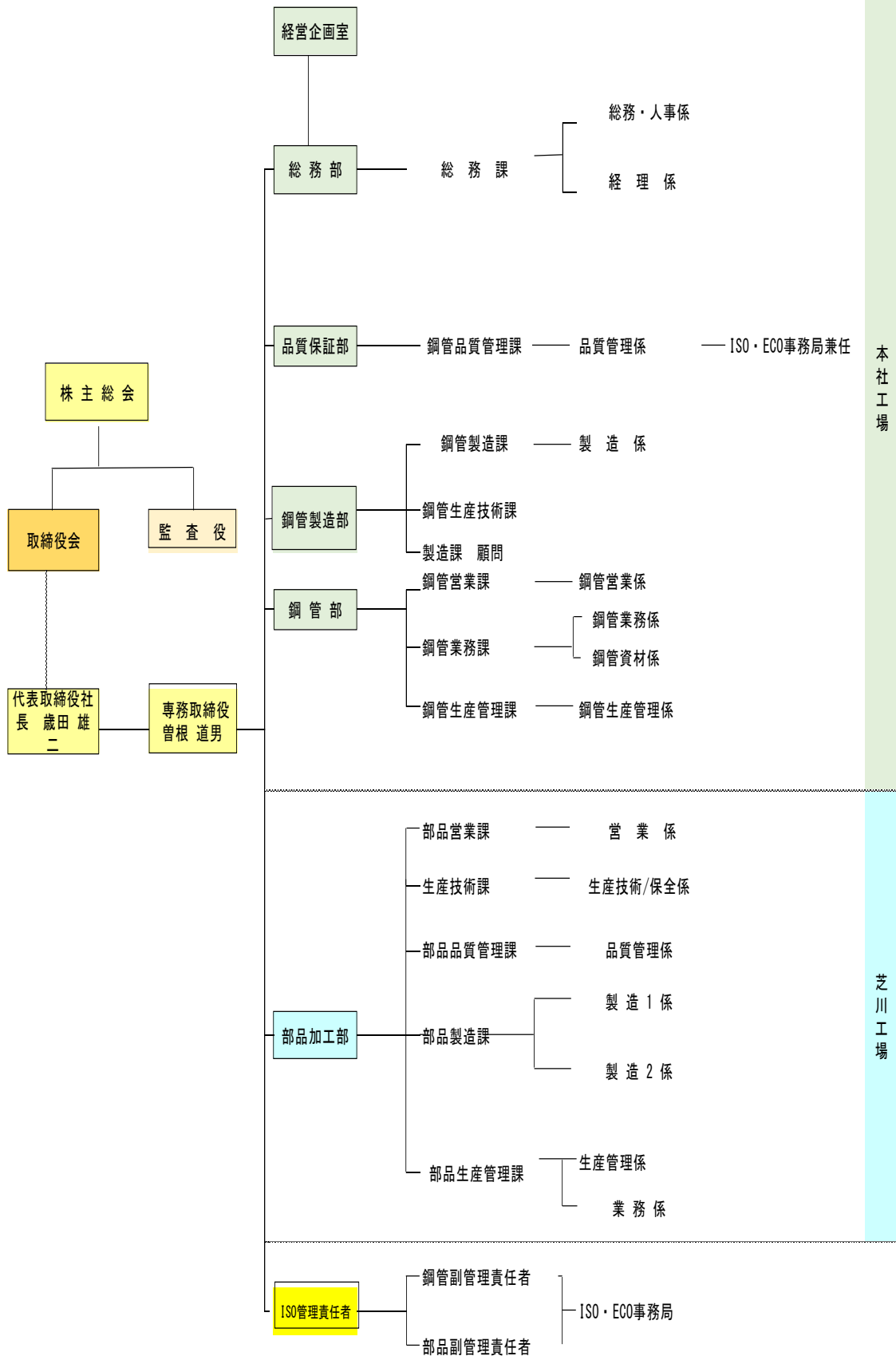
トシダ工業株式会社 部品製造部 芝川工場



【組織の概要】

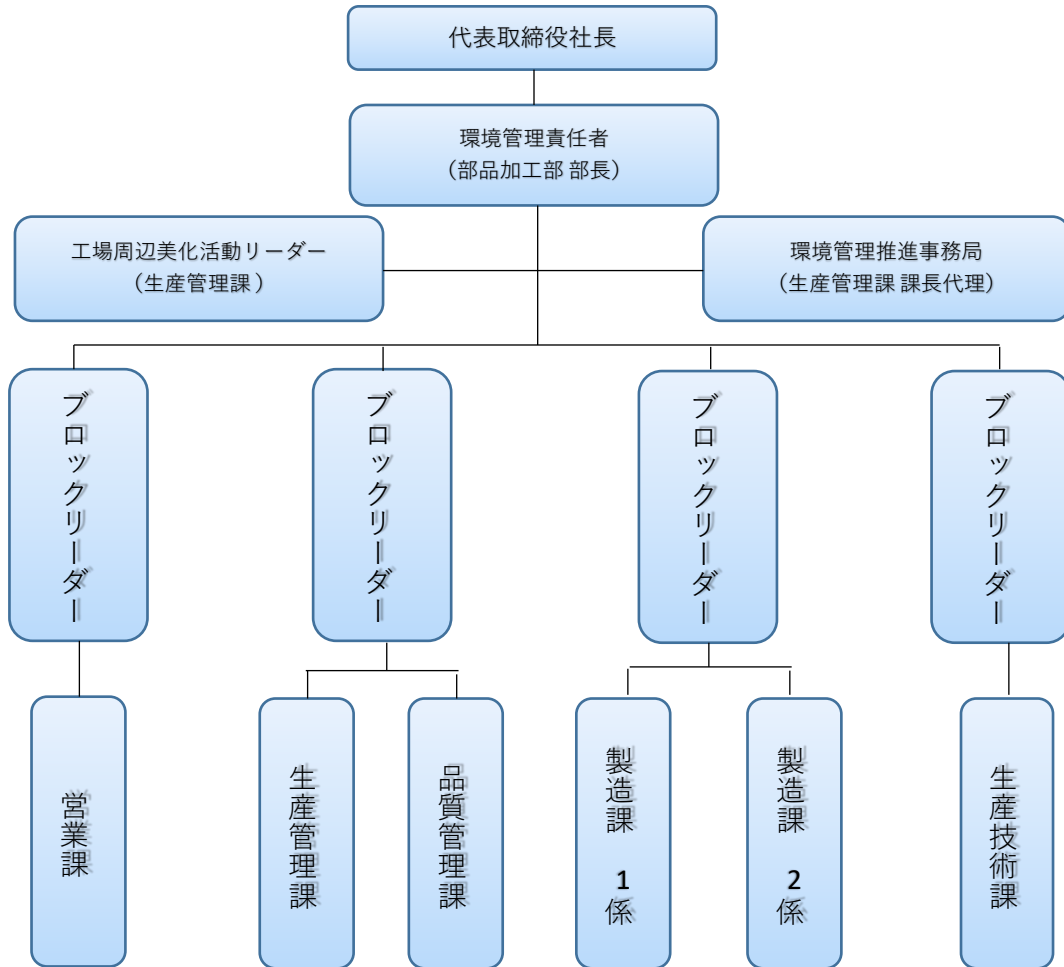
事業所名	トシダ工業株式会社 部品製造部 芝川工場
代表者名	代表取締役社長 歳田 雄二
所在地	静岡県富士宮市上柚野 288-2
開設年月日	平成4年11月1日 芝川工場開設
関連事業所	トシダ工業株式会社 鋼管製造部 本社工場・東工場 所在地: 静岡県富士宮市万野原新田3647-3 (エコアクション21認証取得済 2008/09/02 No.0002873)
設立年月日	昭和36年8月1日
資本金	8,155万円
従業員数	100名(芝川工場含む)
事業概要	<p>弊社は、昭和36年の創立以来、引抜鋼管の製造及び、部品加工を通してパイプの用途、開発を積極的に進めて参りました。</p> <p>平成17年12月よりエコアクション21の活動を開始し当工場は本社工場で引抜加工されたパイプの定尺切断、曲げ、成型、ロウ付け加工等を行い、自動車用部品を始め、数多くの部品製造を行っています。</p>
事業規模	部品製造部 芝川工場 61期(2020/8~2021/7)
売上高	10億8,149万円
製品生産量	1,568トン(重量換算)
所要面積	2,085㎡
従業員数	43名
主要製品	シートベルト用プリテンショナーパイプ 燃料系ジョイントチューブ 防振ゴム用部品・シートスライド用レバー その他、自動車部品各種

【全体組織図】



【対象範囲】

環境管理責任者	部品製造部 歳田光太郎
環境推進事務局	部品製造部 深澤 覚
レポート対象期間	第61期 (2021年8月～2022年7月)
登録範囲	トシダ工業株式会社 部品製造部 芝川工場
環境管理体制	



責任及び権限

■代表取締役社長

最高意思決定者として環境マネジメントシステムを確立、実施、維持する

■環境管理責任者

環境マネジメントシステムの確立、実施、維持に関する責任を有する

■ブロックリーダー

各職場のリーダーとして環境マネジメントシステムの確立、実施、維持に関する責任を有する

■環境管理推進事務局

環境管理推進の円滑な運営のため、職場内、及び各職場間の連絡・調整を行うとともに環境管理責任者を補佐して適用組織における環境マネジメントシステムを円滑に運営する

■工場周辺美化活動リーダー

工場周辺地域の環境維持のため、全従業員を指揮し工場周辺の美化活動として清掃を企画運営する

【環境方針】

トシダ工業株式会社 部品製造部 環境方針

トシダ工業株式会社部品製造部は、富士山の自然環境の恵みを受けており、地球環境の保全がこれからの企業活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全ての領域と、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境マネジメントシステム活動を推進し、地球環境との共生と調和を図ってまいります。

(1) 環境関連の法の遵守

環境に関連する法律及びその他の要求事項を遵守し、緊急事態による環境への影響を除去して環境の保全に努めます。

(2) 地球温暖化防止のための省エネ活動推進

電力、石油製品、LPガスの削減活動に取り組み、二酸化炭素の排出量を抑えて地球温暖化防止に努めます。

(3) 省資源の推進

限りある地球資源の枯渇防止に努め、再生資源材料や環境に配慮した資機材によるグリーン調達、グリーン購入を図り、且つ、最終製品への直行率の向上と環境に配慮した製品の提供を推進し省資源の推進をいたします。

(4) 廃棄物の削減の実施

廃棄物の分別回収徹底とリサイクル化等により廃棄物の削減に取り組み、循環型社会形成推進に努力します。

(5) 水質汚濁の防止

富士山の湧水である芝川に排出する工場廃水の削減を推進し、生態系に配慮して水質に細心の注意を払い、河川汚濁の防止を進めます。

(6) 周辺の自然環境との調和

緑と水の豊富な自然環境に恵まれた地域で事業活動をしていることを認識し、工場周辺の美化に取り組み環境保全を果たします。

(7) 環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

働く者一人ひとりが本活動を理解し、積極的に活動できるよう環境方針を全従業員に周知するとともに、社外にも公表します。また、環境活動レポートの公表や地域で主催する環境保全活動にも積極的に参加して地域への貢献を推進します。

平成17年11月10日制定

平成23年 8月 1日改訂



トシダ工業株式会社

代表取締役社長

歳田 友佳二

【環境目標と活動】

61期 環境目標と活動

環境宣言

トヨタ工業株式会社部品加工部は、富士山の自然環境の恵みを受けており、地域環境の保全がこれからの企業活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全工程の領域と、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境マネジメントシステム活動を推進し、地球環境との共生と調和を図ってまいります。

環境方針項目

- 1、環境関連の法の遵守
- 2、地球温暖化防止のための省エネ活動推進
- 3、省資源の推進
- 4、廃棄物の削減実施
- 5、水質汚濁の防止
- 6、周辺の自然環境との調和
- 7、環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

※61期活動期間 令和03年8月～令和04年7月

環境目標	具体的目標	目標値	環境活動計画	実施期間	担当	中長期(1年後) 62期目標
二酸化炭素排出量削減	購入電力 前期実績861Kwhから1%削減	852kwh/トン	テマンドシステムの継続的活用による省エネ	8月～期末	中司	二酸化炭素排出量 60期実績2%削減
	二酸化炭素排出量 前期実績802Kgから1%削減	596kg-CO ₂ /t	朝礼時での節電啓蒙、こまめな消灯運動推進 朝礼時での省エネ、節電の啓蒙推進 エアーク、油漏れ箇所の洗出しと改善	9月完了 毎週月曜 8月～期末	中司 中司 中司	
廃棄物排出量削減	廃油量 前期実績0.96kgから1%削減	0.95kg/トン	再生可能な洗浄液への変更を検討	8月～期末	高橋	廃棄物排出量 60期実績2%削減
	金属くず排出量 前期実績59Kgから1%削減	58.4kg/トン	工程内不良率低減活動の推進	8月～期末	中司	
工程内不良の削減	工程内不良率 前期実績0.76%と同様	0.70%	キズ・圧痕不良の原因究明と潰し込み	8月～期末	中司	工程内不良率 1.0%以下
総排水量の削減	水使用量 前期実績2.23m ³ から1%削減	2.20m ³ /トン	朝礼時での節水啓蒙の推進	毎週月曜	高橋	総排水量 60期実績2%削減
	キシレン使用量 前期実績36.1gから1%削減	35.7g/トン	ペガゾール(洗浄液)使用量削減活動の推進	8月～期末	稲葉	
化学物質使用量の削減	トルエン使用量 未使用	0g/トン	シンナーでの洗浄作業の廃止	8月～期末	稲葉	化学物質使用量 60期実績2%削減
	ペガゾール使用量 前期実績3.61m ³ から1%削減	3.57L/トン	ペガゾール(洗浄液)使用量削減活動の推進	8月～期末	稲葉	
グリーン購入の推進	エコマーク製品の購入 前期実績96.3%から1%増加	購入率97.2%以上	エコマーク事務用品の購入	8月～期末	佐野	グリーン購入 エコマーク製品購入率90%
緊急対応訓練の実施	緊急対応訓練の実施	年1回実施	油漏れ流出対応訓練の実施	R3/9月	蔵田	緊急対応訓練 年1回実施
工場周辺美化活動の推進	工場周辺美化活動の推進	月1回実施	工場周辺のクリーン作戦の実施	1回/月	佐野	工場周辺美化活動 月1回実施
地域活動への参加	地域活動への参加	年2回参加	ボランティア参加依頼に対し随時検討	随時	蔵田	地域活動への参加 年2回参加

※各項目の目標値は総生産数トン当たりの目標とする

【環境活動目標と実績】

61期 環境目標と実績

活動期間 61期: 2021/08～2022/07

目標及び実績値: 各項目の総生産数対比での月平均値

環境目標	具体的目標			実績評価	
	項目	単位	目標	実績	評価 (達成度)
二酸化炭素排出量の削減	温室効果ガス排出量	Kg-CO ₂ /t	596.0	1308.8	45.5%
	購入電力	kwh/t	852.0	1949.7	43.7%
	エアリーク・油ダレ改善	件	随時		100.0%
廃棄物排出量の削減	廃油量	kg/t	0.95	3.195	29.7%
	金属くず排出量(有価物)	kg/t	58.4	127.05	46.0%
工程内不良率の低減	工程内不良率	%	0.7	0.76	92.1%
総排水量の削減	水使用量	m ³ /t	2.2	3.9	56.4%
化学物質使用量削減	キシレン使用量	g/t	35.73	87.0	41.1%
	トルエン使用量	g/t	0	0	#DIV/0!
	ペガゾール使用量	L/t	3.57	8.29	43.1%
グリーン購入の推進	エコマーク商品の購入	% (調達率)	97.20%	35.00%	36.0%
緊急対応訓練の実施	油漏れ流出対応訓練	-	年1回	中止	
周辺の自然環境との調和	工場周辺の美化活動	-	月1回	中止	
環境地域活動への参加	ボランティア活動の参加	-	年2回	中止	

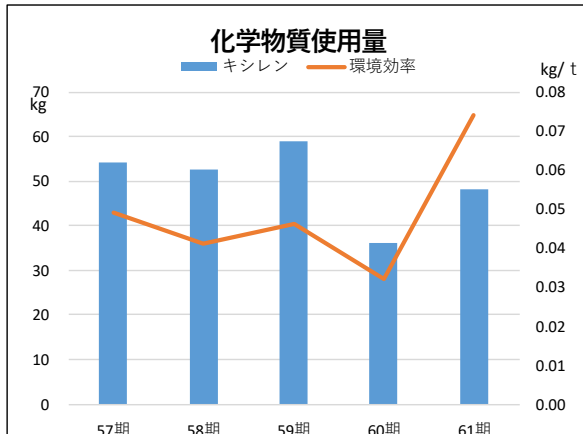
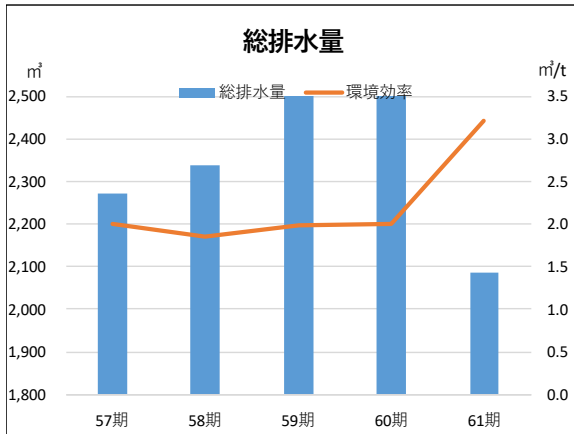
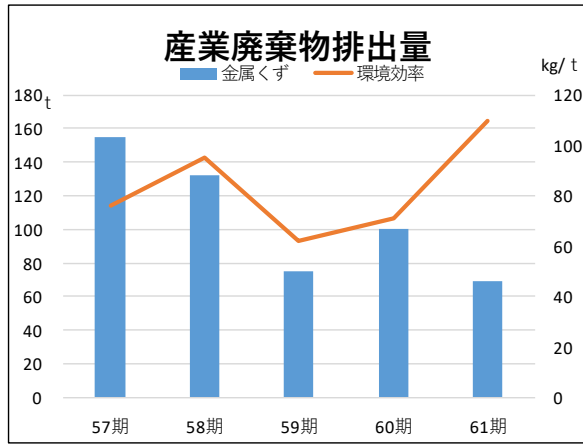
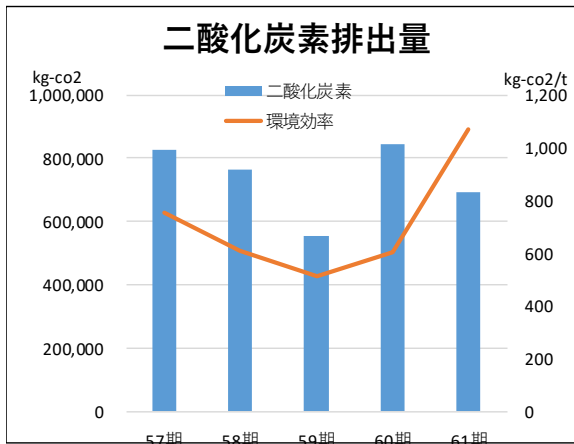
※二酸化炭素排出係数は2019年度「北海道電力実排出係数」0.601kg-CO₂kwhを使用

【環境への負荷の状況】

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

※61期は2021/8～2022/7までのデータ

環境への負荷		単位	57期	58期	59期	60期	61期	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	825,659.5	761,998.0	555,047.1	843,353.6	693,390.2	
	環境効率(生産数比)	kg-CO ₂ /t	750.3	606.6	513.9	602.0	1,069.5	
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	段ボール	t	1.6	1.3	1.7	1.9	1.2
		その他可燃ごみ	t	27.9	27.9	27.6	27.6	27.6
		最終処分量	t					
	産業廃棄物	汚泥(廃油)	t	3.7	2.3	9.0	1.5	1.9
		金属くず	t	154.7	132.2	75.3	99.9	69.1
		環境効率	kg/t	75.8	95.0	61.9	71.2	109.5
最終処分量		t						
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	2,271.7	2,336.1	2,527.5	3,127.7	2,086.2	
	環境効率(生産数比)	m ³ /t	2.00	1.85	1.98	1.99	3.21	
④ 化学物質使用量	キシレン	kg	54.1	52.6	58.9	36.1	48.0	
	環境効率(生産数比)	kg/t	0.049	0.041	0.046	0.032	0.074	



【環境活動計画と実績】

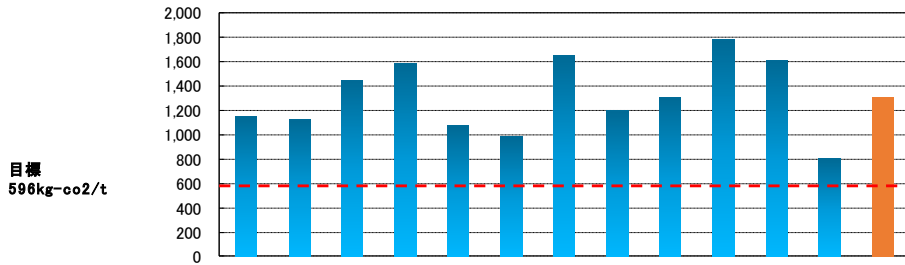
61期 環境活動計画管理表

「環境目標：二酸化炭素排出量596kg-CO2/t 以下(月平均)」

■ 二酸化炭素排出量/生産トン数

活動期間：令和03年8月～令和04年7月

kg-co2/t



活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
二酸化炭素排出量 (kg-co2/t)	1,152	1,121	1,447	1,590	1,068	983	1,648	1,196	1,309	1,781	1,609	802	1,309
評価 目標: 607.0kg-co2/t	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
エアリーク改善 (件数)	2	2	2	2	2	1	0	0	2	2	1	1	1.4
評価 目標: 2箇所以上	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
油ダレ改善 (件数)	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	0.7
評価 目標: 2箇所以上	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×

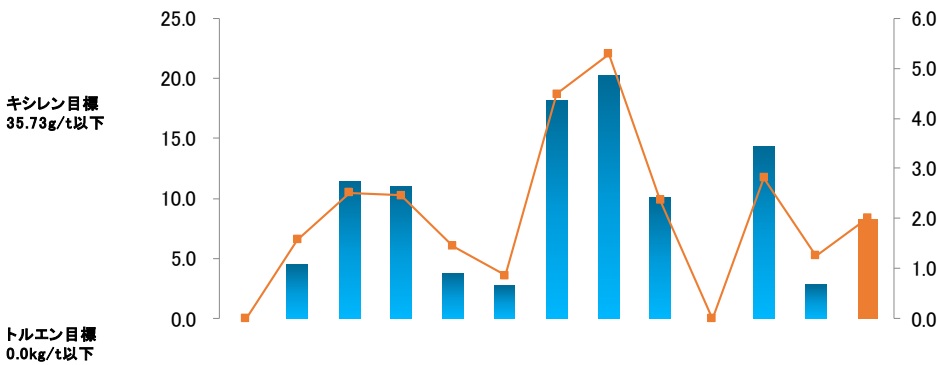
※二酸化炭素排出量は排出量÷総生産トン数にて表記
※二酸化炭素排出係数は0.601kg-CO2kwhを使用

61期 環境活動計画管理表

「環境目標：化学物質使用量 前期比1%削減」

活動期間：令和03年8月～令和04年7月

■ キシレン使用量/生産トン数 — ペガゾール使用量/生産トン数

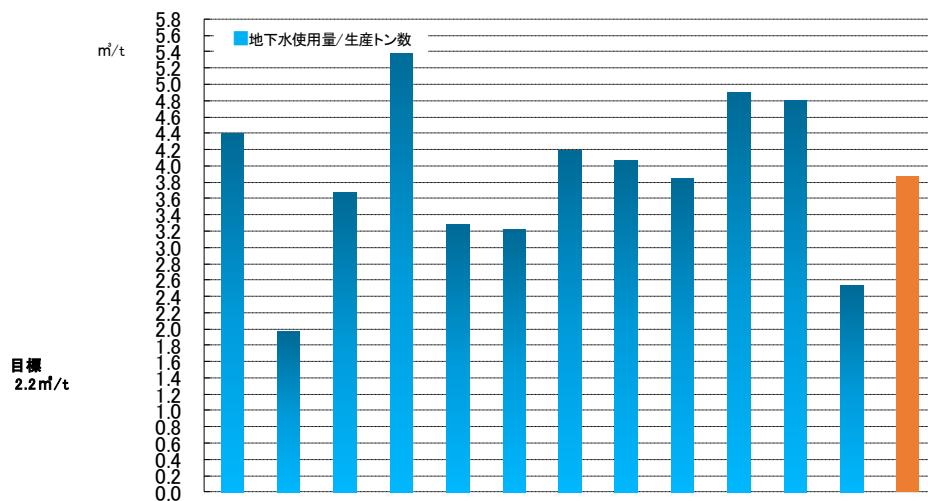


活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
キシレン使用量 (g/t)	0.0	65.5	104.7	102.6	60.2	35.9	186.9	220.3	98.5	0.0	117.3	52.2	87.0
評価 目標: 35.73g/t以下	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
トルエン使用量 (kg/t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価 目標: 0.00kg/t以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ペガゾール使用量 (L/t)	0.0	6.5	10.5	10.3	6.0	3.6	18.7	22.0	9.9	0.0	11.7	5.2	8.7
評価 目標: 3.57L/t以下	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×

61期 環境活動計画管理表

「環境目標：地下水使用量2.2m³/t 以下(月平均)」

活動期間：令和03年8月～令和04年7月

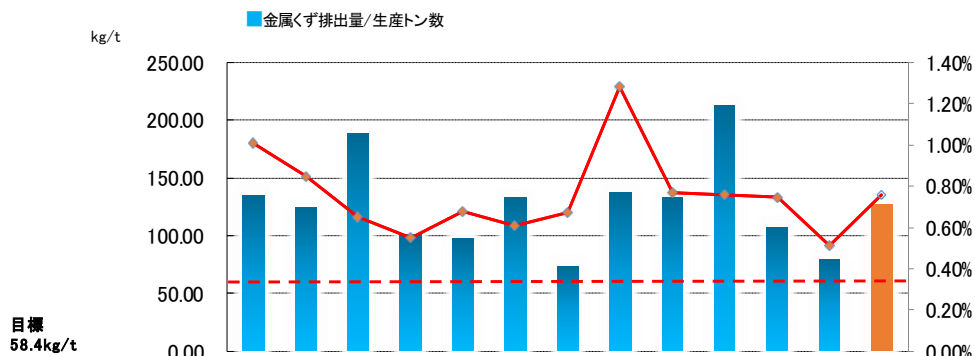


活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
地下水使用量 (2.2m ³ /t)	4.40	1.96	3.67	5.52	3.28	3.21	4.18	4.07	3.84	4.91	4.80	2.53	3.9
評価 目標: 2.2m ³ /t以下	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

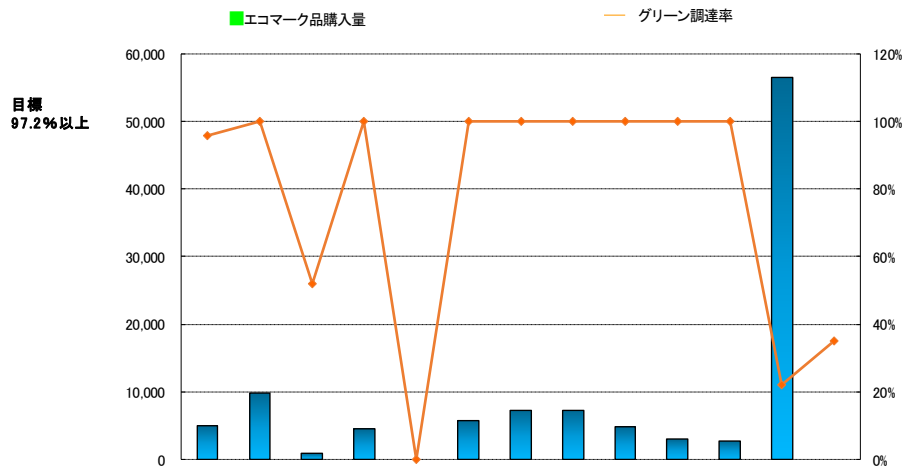
61期 環境活動計画管理表

「環境目標：金属くず(有価物)排出量 58.4kg/t 以下(月平均)」

活動期間：令和03年8月～令和04年7月



活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
金属くず排出量 (kg/t)	135.1	124.1	188.2	101.3	98.0	133.4	73.4	137.9	132.5	213.5	107.3	79.9	127.0
評価 目標: 58.4kg/t以下	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
工程内不良率	1.01%	0.85%	0.65%	0.55%	0.68%	0.61%	0.67%	1.28%	0.77%	0.76%	0.75%	0.51%	0.76%
評価 目標: 0.70%以下	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×



活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
ECマーク品購入量 (円)	4,963	9,754	934	4,534	0	5,742	7,240	7,240	4,808	2,940	2,650	56,532	8,945
グリーン調達率 (%)	95.9%	100.0%	51.9%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	22.2%	35.0%
評価 目標:97.2%以上	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×

■その他活動の取り組み

1、緊急対応訓練

コロナウイルス影響により未開催

2、工場周辺の清掃活動(月1回)

コロナウイルス影響により未開催

3、清掃ボランティア活動への参加

コロナウイルス影響により未開催

【環境関連法規等の遵守状況の確認、評価の結果、違反訴訟等の有無】

環境関連法規についての違反はありません。また、関係機関等から違反等の指摘もありません。近隣住民からの苦情・訴訟等も過去にもありません。

61期 環境関連法規遵守状況評価

遵守状況 ○:遵守 ×:不適合

評価実施日:2022/07/31

法令・条例名・主要法規制等	遵守状況
■水質汚濁防止法	○
■産業廃棄物処理法	○
産業廃棄物の保管基準の遵守	○
廃棄物の飛散・流出の防止	○
産業廃棄物の処理委託基準	○
産業廃棄物処理の委託先の実地確認と記録の保管	○
■リサイクル法	○
■容器・包装リサイクル法	○
■騒音規制法	○
■振動規制法	○
■PRTR法	○
有害化学物質の使用・排出・移動・廃棄などの適正管理	○
■浄化槽法	○
■家電リサイクル法	○
■フロン排出抑制法	○
■自動車リサイクル法	○
■グリーン購入法	○
物品を購入する場合はできる限り環境物品を購入するよう努める	○
■1都3県ディーゼル車規制条例	○

上記の「環境法規の取りまとめ」に準じます

代表者による全体評価・見直し記録表

評価日:令和 04年 7月 29日
 評価者:歳田 光太郎
 情報提供者:歳田光太郎

	環境目標	具体的目標			評価	
		項目	単位	目標		実績
見直し 関連情報	二酸化炭素排出量の削減	温室効果ガス排出量	Kg-CO ₂ /t	596.0	1308.8	45.5%
		購入電力	kwh/t	852.0	1949.7	43.7%
		エアリーク・油ダレ改善	改善件数	随時		100.0%
	廃棄物排出量の削減	廃油量	kg/t	0.95	3.195	29.7%
		金属くず排出量(有価物)	kg/t	58.4	127.05	46.0%
	工程内不良率の低減	工程内不良率	%	0.7	0.76	92.1%
	総排水量の削減	水使用量	m ³ /t	2.2	3.90	56.4%
	化学物質使用量削減	キシレン使用量	g/t	35.73	87.0	41.1%
		トルエン使用量	g/t	0	0	0.0%
		ペガゾール使用量	L/t	3.57	8.7	41.0%
	グリーン購入の推進	エコマーク商品の購入	% (調達率)	97.2	35.00%	42.4%
	緊急対応訓練の実施	油漏れ流出対応訓練	-	年1回	実施無し	0.0%
	周辺の自然環境との調和	工場周辺の美化活動	-	月1回	実施無し	0.0%
	環境地域活動への参加	ボランティア活動の参加	-	年2回	実施無し	0.0%
		環境活動計画の実施及び運営結果	コロナでの受注落ち込みは回復してきたが、集団活動は自粛している為、エコ活動(ボランティア活動等)が少なかった			
		環境関連法規の遵守状況	環境関連法規についての違反はありません。また、関係機関からの違反、指摘はありません			
	外部からの環境に関する苦情や要望等	近隣住民からの苦情、訴訟等はありません				
代表者による 全体評価・ 見直し 指示	見直し項目	変更の必要性	指摘事項等			
	環境方針	有 ・ (無)	方針遵守が定着していますので従来通り継続して下さい。			
	環境目標	有 ・ (無)	排出量自体は減少しているが対生産割合では大きく悪化。生産品目の違いも大きく影響した事は理解できるが、基本の生産性が悪化していると思われる。			
	環境計画及び環境システム等	有 ・ (無)	製造現場への落とし込みも展開しており順調に機能しています。			
	全体評価・コメント	生産品目と生産体制が大幅変更によりKg-Co2/tonが大幅に悪化。ただし絶対値は下回る。しかし、生産品目の変更を除外しても生産効率は悪化していると思われる。生産性を高め無駄なエネルギーの削減を来期以降は尽力しなければならない。62期は生産品目と生産体制を60期に戻す(60期と同等生産体制)為、Kg-Co2/tonの改善は期待できる。				

62期 環境目標と活動

環境宣言

トヨタ工業株式会社部品加工部は、富士山の自然環境の恵みを受けており、地域環境の保全がこれからの企業活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全ての領域と、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境メネジメントシステム活動を推進し、地球環境との共生と調和を図ってまいります。

環境方針項目

- 1、環境関連の法の遵守
- 2、地球温暖化防止のための省エネ活動推進
- 3、省資源の推進
- 4、廃棄物の削減実施
- 5、水質汚濁の防止
- 6、周辺の自然環境との調和
- 7、環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

※62期活動期間 令和4年8月～令和5年7月

環境目標	具体的目標	目標値	環境活動計画	実施期間	担当	中長期(3年後) 64期達成目標
二酸化炭素排出量削減	購入電力	60期実績861Kwhから1%削減	テマンドシステムの継続的活用による省エネ	8月～期末	中司	二酸化炭素排出量 60期実績2%削減
	二酸化炭素排出量	60期実績602Kgから1%削減	朝礼時での節電啓蒙、こまめな消灯運動推進	9月完了	中司	
廃棄物排出量削減	二酸化炭素排出量	60期実績602Kgから1%削減	朝礼時での省エネ、節電の啓蒙推進	毎週月曜	中司	廃棄物排出量 60期実績2%削減
	廃油量	60期実績0.96Kgから1%削減	エアリーク、油漏れ箇所の洗出しと改善	8月～期末	中司	
工程内不良の削減	金属くず排出量	60期実績59Kgから1%削減	再生可能な洗浄液への変更を検討	8月～期末	高橋	工程内不良率 0.7%以下
	工程内不良率	60期実績0.76%と同様	工程内不良率低下活動の推進	8月～期末	中司	
総排水量の削減	水使用量	60期実績2.23m ³ から1%削減	キズ・圧痕不良の原因究明と潰し込み	8月～期末	中司	総排水量 60期実績2%削減
	キンレン使用量	60期実績36.1gから1%削減	朝礼時での節水啓蒙の推進	毎週月曜	高橋	
化学物質使用量の削減	トルエン使用量	未使用	ペガソール(洗浄液)使用量削減活動の推進	8月～期末	稲葉	化学物質使用量 60期実績2%削減
	ペガソール使用量	60期実績3.61m ³ から1%削減	シンナーでの洗浄作業の廃止	8月～期末	稲葉	
グリーン購入の推進	エコマーク製品の購入	60期実績96.3%から1%増加	ペガソール(洗浄液)使用量削減活動の推進	8月～期末	佐野	グリーン購入 エコマーク製品購入率90%
緊急対応訓練の実施	緊急対応訓練の実施	年1回実施	エコマーク事務用品の購入	R3/9月	森田	緊急対応訓練 年1回実施
工場周辺美化活動の推進	工場周辺美化活動の推進	月1回実施	油濡れ流出対応訓練の実施	1回/月	佐野	工場周辺美化活動 月1回実施
地域活動への参加	地域活動への参加	年2回参加	工場周辺のクリーン作戦の実施	随時	森田	地域活動への参加 年2回参加

※各項目の目標値は総生産数に当たりの目標とする